2024 年度　学校法人　三幸学園　横浜リゾート＆スポーツ専門学校
自己評価報告書

自己評価報告責任者　：　教務課長　三澤　麻衣

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、スポーツ分野の学校として「スポーツを通じて日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。
また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、スポーツ分野として「スポーツを通じて健康と楽しさを提供できる人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

①　前年度重点施策振り返り

■教務強化ポイントの設定

⇒「挨拶」「清掃」「学習に対しての前向きな姿勢」など生徒に意識させたい項目を統一で設定した。

⇒情報の標準化を行うため、①年間を通して教務施策の実施　②特待生の育成強化　③統一 HR の実施を行った。

⇒学習機会の創出や学び成果を生かすために外部活動を充実させることにも力を入れた。

■退学防止

⇒生徒状況の共有（担任会議にて隔週で報告し、講師にも共有をする）

⇒各学科に学科長を配置し、担任は気になる生徒状況を学科長に報告し、学科長同席のもと三者面談を行った。また、学科長間でも生徒状況共有を密に行った。

■キャリア対策の実施

⇒年間を通して、就職学年のみならず全学年対象にキャリア対策を実施した。卒業学年においては、校内説明会を放課後に実施。進級学年においては、職業体験会や就職決起大会、合同企業説明会の実施をした。1 年次により具体的な就職イメージを持たせ、早期に進路決定につながるよう斡旋した。

■産学連携の強化

⇒DeNA様：公式試合のボディケアブース出展

⇒横浜 FC　様：インターンシップ実習の実施

⇒YSCC 横浜フットサル様：ホームゲームの設営サポート・インターンシップ実習の実施

⇒川崎ブレイブサンダース様⇒：インターンシップ実習の実施

⇒川崎フロンターレ様：トレーナー見学会の実施・フロントスタッフの講和・インターンシップ実習の実施

⇒レーヴェ横浜様：ホームゲームのサポート

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	3
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

■理念や人材育成像について、生徒及び教職員へこちらから一方的に伝えるばかりであるため、浸透には至っていないと感じる。

■「各学科に対応する業界のニーズ」については、まず担任メンバーから知見を深める必要がある。

② 今後の改善方策

■全体会議にて各学科における目指す人材育成像の再確認や理想と現状とのギャップを捉え効果的な対策についてディスカッションをする機会を持つ。

■業界ニーズを把握するため、専門人材の配置や、専門家から業界の動向を知る機会を設けていく。

③ 特記事項

特になし

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意志決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	2
教務･財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	3
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

■就業規則で定められている残業規定を大半が守れていない

② 今後の改善方策

■残業時間の管理を年間通して行う

■定期的に業務の見直しを行い、業務の効率化と改善を行う。

③ 特記事項

■コンプライアンス体制整備のため、全体会議内でハラスメントガイドラインにふれて説明している。

■問題となりそうな案件がある場合は、該当者と責任者にて面談を実施し、共通認識を図り、抑止に努めている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成･実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育･実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫･開発などが実施されているか	4
関連分野の企業･関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成･見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育（産学連携によるインターンシップ、実技･実習等）が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施･評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	3
成績評価･単位認定の基準は明確になっているか	4
資格（免許）取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	3
関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務･兼務含め）の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識･技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	3

① 課題

■一部の学科において関連分野における業界との連携に優れた教員の配置ができていない。

■企業と連携した教員の確保ができていない。

■関連分野における知識･技能向上に向けた取り組みが不足している。

② 今後の改善方策

■講師の募集を早期から行い、専門分野において経験値の高い講師の採用に励む

■企業と連携した定期的な教員研修を実施する。

③ 特記事項

■授業アンケート項目の中で、特に部門として力を入れていきたいものを提示し、統一認識を図った。

■全体会議にて、授業力の高い講師から授業力向上研修を行った。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	3
資格（免許）取得率の向上が図られているか	3
退学率の低減が図られているか	3
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	2
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	2

① 課題

■主要資格の合格率は年々高くなってきているが、姉妹校と比較しまだ実力を十分に発揮できていないところがある。

■前年度と退学率は変わらず、退学率の目標数値（6.0%以下）に対して、最終目標数字を上回ってしまった（2024 年度退学率 7.4%）

■卒業生の状況把握や卒業後のキャリア形成のためのサポートが不足している。

② 今後の改善方策

■合格率向上のための対策は継続して実施する。

■クラス環境や友人関係での退学を防止するために、クラス会の実施を 6 月～7 月で各クラス実施する。

■年度はじめの HR にて担任以外の職員を紹介し、相談窓口が広くあることを周知させている。

■定期的な企業訪問や、20 周年同窓会の機会を活用し卒業生とのつながりを作る。

③ 特記事項

特になし

(5)学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路･就職に関する支援体制は整備されているか	3
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	3
課外活動に対する支援体制は整備されているか	3
学生の生活環境への支援は行われているか	3
保護者と適切に連携しているか	3
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	2
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	3
高校･高等専修学校等との連携によるキャリア教育･職業教育の取組が行われているか	3

① 課題

■卒業生への支援体制が整備されていない。

■時間割の都合上、平日の課外活動に行く時間の確保が出来ていない。

■配慮が必要な生徒に受講スタイルを選べる環境の整備。

② 今後の改善方策

■SANKO リンク(同窓会 HP)を活用し、卒業生プラットフォームの構築を進めていく。

■学生本位の時間割設定をするために科目講師要件の見直しを行う。

■ハイフレックス型授業の運用に向けて準備を進める。

③ 特記事項

■ハイフレックス型授業の運用については、後期より試験的に行えるように準備をすすめる。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設･設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	3
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災･安全管理に対する体制は整備されているか	3

① 課題

■防災、安全管理に対する体制整備

② 今後の改善方策

■生徒･職員の避難訓練指導の実施

③ 特記事項

特になし

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	3
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	3
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

■大学と専門学校のちがいを高校生に浸透させられていない。

■姉妹校を含めた本校の実績を適切に伝えきれていない。

■高校や高校の教職員との連携がはかれていない。

② 今後の改善方策

■自校の魅力が適切に伝えられるように研修を行う。

■内部関係者においてつながりのある高校から中心に高校訪問を行っていく。

③ 特記事項

特になし

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算･収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算･収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第3期中期計画(2023 年度～2027 年度)の2年目にあたり、中期計画及び進捗状況はホームページ上に公開している。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

第3期中期計画については、東京未来大学及び小田原短期大学の中計改定に加え、東京みらい中学校及び支援学校仙台みらい高等学園の内容を追加し、第3期中期経営計画(第2版)として改定する予定である。

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	3
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

■更なる法令遵守の推進。

■個人情報の取り扱いについては、今後も周知徹底していく必要がある。

② 今後の改善方策

■教職員会議や掲示物を通じて、法令遵守に対する啓蒙を継続的に図る。

④ 特記事項

■平成 26 年度 自己評価結果より公開開始

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	2

① 課題

■一般の方向けの公開講座が少ない。

② 今後の改善方策

■地域貢献につながる公開講座を積極的に実施していく。

③ 特記事項

■ボランティア活動については積極的に取り組んでいる。スポーツイベント支援、スポーツチーム支援、幼児スポーツ支援等を中心に様々な活動を実施している。特にリゾスポ大陸では、月に1回学校のスタジオに地域の子どもたちを呼び、生徒たちが有志で参加し、幼児体育指導を行っている。実際に授業で学んだことをアウトプットできる場であり、地域貢献にも繋がっている。